

ナショナルチーム(障害・馬場・総合)規程

(趣 旨)

第1条 世界に通じる人馬の育成を図り、オリンピック競技大会、世界馬術選手権大会にチームとして出場し、さらにはメダル獲得を目標としてチームワークによる競技力向上を実現し、効率的かつ長期的視野で施策を講じるためナショナルチームを編成する。

(認 定)

第2条 各競技本部は、選考基準に該当した人馬あるいは選手に対して、当該選手にナショナルチームのメンバーの要件を満たしたことを通知し、加入の申請ならびに承諾書の提出をもってナショナルチームのメンバーとして認定する。ただし、基準を満たした選手であっても、行動指針に反する行為があると競技本部が判断した場合は、認定しないこと、あるいは認定を取り消すことがある。なお未成年者の場合は、保護者の同意を必要とする。

(ナショナルチーム)

第3条 ナショナルチームメンバーの選考基準は、競技部門ごとに以下のとおりとし、基準を満たした人馬(者)をメンバーとする。なお、実績等の評価によって本部が推薦した人馬(者)を理事会の承認を得てメンバーとすることができる。

【障害馬術】

ナショナルチーム

対象年齢は18歳以上(18歳を迎える年から)とする。

- ・ オリンピック競技大会あるいは世界馬術選手権大会のFEI個人出場最低基準を満たした人馬
- ・ CSI-W Final大会でのThird Final競技に出場した人馬
- ・ 全日本障害馬術選手権(大障害決勝)2回走行を総減点0で優勝した人馬
- ・ CSI-W日本リーグで実施される大障害競技で減点0の成績を同一のシーズンに3回収めた人馬

【馬場馬術】

ナショナルチーム

A (オリンピック競技大会・世界馬術選手権大会)

- ・ オリンピック競技大会あるいは世界馬術選手権大会の個人出場最低基準を満たすことのできるFEI指定競技会で実施されるグランプリ課目においてFEI公式国際審判員(5★ジャッジ)から獲得した得点率かつ全審判員による最終得点率が64%以上の成績を得た人馬

B (アジア競技大会)

- ・ FEI公認及びJEF主催・公認の国内外の競技会において実施されたFEIインターメディアエイトIにおける最終得点率が63%以上の成績を得た人馬
- ・ FEI公認及びJEF主催・公認の国内外の競技会において実施されたFEIセントジョージ賞典における最終得点率が63%以上の成績を得た人馬

【総合馬術】

ナショナルチームA

- ・ スリースター以上の競技会を完走した選手

ナショナルチームB

- ・ ツースターの競技会を完走した選手、またはワンスターの競技会で3位までの入賞者

ナショナルチームジュニア

- ・ 全日本大会でのヤングライダー選手権とジュニアライダー選手権の6位までの入賞者、または全日本学生賞典総合馬術競技大会の個人6位までの入賞者

(認定期間)

第4条 認定の期限は、認定された当該年度末（3月末）までとし、当該競技本部は、毎年度末に認定以降の活動実績をもとに審査し、認定を1年間更新することができる。

(認定の取り消し)

第5条 選手強化活動を中止した場合あるいは人馬のコンビを継続できなくなった場合は、認定を取り消す。また、認定後半年間、活動実績がない場合、あるいは成績が選考基準と比べて著しく劣ると当該競技監督が判断した場合は、年度内においても理事会の承認を得て認定を取り消すことがある。

(国際馬術大会への派遣)

第6条 チームで出場する国際競技会については、以下の基準により当該本部監督が人馬を選考する。

【障害馬術】

- ・ オリンピック競技大会、世界馬術選手権大会、大陸選手権大会、アジア競技大会については、監督が実績を考慮の上でナショナルチームのメンバーの中より人馬を選考し、オリンピック等対策委員会に推薦、理事会にて承認される。
- ・ チームで参加する上記以外の国際競技会については、監督がナショナルチームのメンバーの中より人馬を選考する。
- ・ 貸与馬で行われるCSIあるいはCSIO等の競技会については、監督がナショナルチームのメンバーの中より選手を選考する。選考の結果、招待された人数に満たない場合は、監督がナショナルチームのメンバー以外から活動実績をもとに選手を選考する。ただし、このことにより、当該選手をナショナルチームのメンバーとして認定することはない。
- ・ ナショナルチームのメンバーでない選手が、選手本人、トレーナーもしくは関係者の協力によってチームで参加する競技会の参加権を得た場合は、その選手を含むチームを組むことができる。ただし、この競技会において、その人馬がナショナルチームの基準をクリアした場合を除き、ナショナルチームのメンバーとして認定することはない。

【馬場馬術 ・ 総合馬術】

- ・ オリンピック競技大会、世界馬術選手権大会、大陸選手権大会、アジア競技大会については、監督が実績を考慮の上でナショナルチームのメンバーの中より人馬を選考し、オリンピック等対策委員会に推薦、理事会にて承認される。
- ・ チームで参加する上記以外の国際競技会については、監督がナショナルチームのメンバーの中より人馬を選考する。
- ・ 馬を携行しない競技会への派遣については、監督がナショナルチームのメンバーの中より選手を選考する。選考の結果、招待された人数に満たない場合は、監督がナショナルチームのメンバー以外から活動実績をもとに選手を選考する。ただし、このことにより、当該選手をナショナルチームのメンバーとして認定することはない。
- ・ ナショナルチームのメンバーでない選手が、選手本人、トレーナーもしくは関係者の協力によってチームで参加する競技会の参加権を得た場合は、その選手を含むチームを組むことができる。ただし、この競技会において、その人馬がナショナルチームの基準をクリアした場合を除き、ナショナルチームのメンバーとして認定することはない。

(行動指針)

第7条 ナショナルチームのメンバーとして認定された者は、日本を代表する選手の一員としての自覚を持ち、競技力向上のため最善の努力を払うことを常とし、以下の事項を遵守しなければならない。

- ・ チームワークを重んじ、常に馬術の技術向上に努めること。
- ・ 国内外で開催する強化合宿等に関して、原則として参加すること。
- ・ ナショナルチームのメンバーは、当該種目の全日本馬術大会（障害・馬場）への出場権が与えられる。
- ・ 当連盟会員倫理規程を遵守し、他の選手の模範となること。
- ・ 日本を代表する選手であることを自覚し、行動、発言には十分に注意すること。

- ・ 選手、対象馬を問わず、重大な事故があった場合は、監督あて文書にて報告すること。
 - ・ 競技者ならびに馬のドーピング防止および薬物規制に関する諸規程をよく理解し、これに抵触することがないように十分に注意すること。
- 2 連盟或いはナショナルチームの名誉を毀損する行為、連盟或いは強化スタッフの指示に従わない行為、ナショナルチームのメンバーとして相応しくない行為あるいはチームワークを乱す行為を行った者は、認定を取り消す場合がある。また理由の如何を問わず、選手強化活動を中止する場合あるいは人馬のコンビを継続できなくなった場合は、監督あて文書にて報告すること。

(ナショナルチームスタッフ)

- 第8条 ナショナルチームの監督は、原則として本部長が務めるものとする。なお、本部長が指名する者をオリンピック等対策委員会・理事会の承認を得て監督とすることができる。
- 2 本部長は、オリンピック競技大会、世界馬術選手権大会に関与しない特定の事業について、JOC強化スタッフから監督を任命することができる。
- 3 監督は、業務遂行のため当該事業にJOC強化スタッフを帯同させることができる。

(JOCオリンピック強化指定選手)

- 第9条 JOCオリンピック強化指定選手は、当該競技本部長がナショナルチームのメンバーより選考し、JOCに推薦する。

(活動支援)

- 第10条 ナショナルチームのメンバーに対し、競技会、強化合宿等の参加支援を行うことがある。またJRA、JOC等の関連事業については、ナショナルチームメンバーの中より対象者を推薦する。

(オフィシャルウェア)

- 第11条 日本馬術連盟から提供するオフィシャルウェアを指定された行事にて着用しなければならない。

(規程の改廃)

- 第12条 この規程の改廃については、各競技本部より提案し、障害、総合、馬場の各本部長による審議を経て理事会で決定する。

附 則 この規程は、平成21年12月17日に制定し、平成21年12月17日より適用する。

- 2 この規程適用後、最初の選考は、平成21年4月1日以降の競技実績をもとに選考する。
- 3 平成16年6月15日制定のナショナルチーム編成基準は、平成22年3月31日をもって廃止する。強化指定選手は新たに認定せず、現在の認定者は、所定の期限をもって終了する。
- 4 この規程は、平成23年3月9日より施行する。
第2条、第3条、第4条、第5条、第8条、第11条
- 5 この規程は、平成23年4月13日より施行する。
第3条